

# グラフでみる加工食品の 生産・販売、外食等の指標



## 目次

### < グラフでみる生産販売統計 >

1. 加工食品の生産動向
2. 食品卸売業・食品小売業
3. 外食産業
4. 食料品の物価

### < 今月のトピック >

- ・食品小売業及び外食・中食産業の構造変化



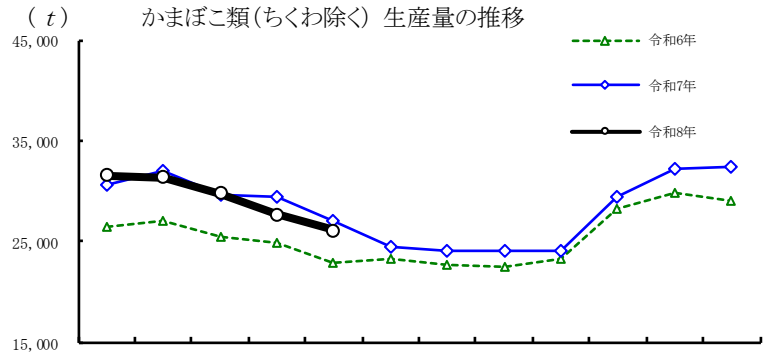
# 1. 加工食品の生産動向

食品需給研究センターでは、食品製造業の月次生産動向について、調査・分析業務（農林水産省「食品産業動態調査」）として実施しています。<https://www.fmric.or.jp/stat/index.html>  
 ここでは、加工食品の主な品目別の生産動向（増減率、速報値）についてとりあげます。  
 なお、詳細は、**11ページ**以降の「食品製造業の生産動向」をご覧ください。

## ○ かまぼこ類

生産量 対前年同月比

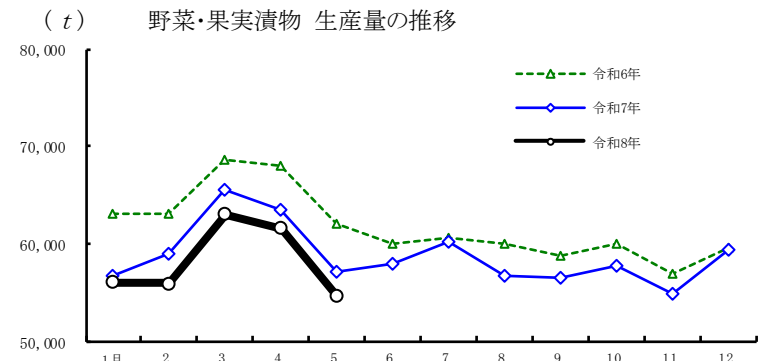
**5月 3.8% 減少**



## ○ 野菜・果実漬物

生産量 対前年同月比

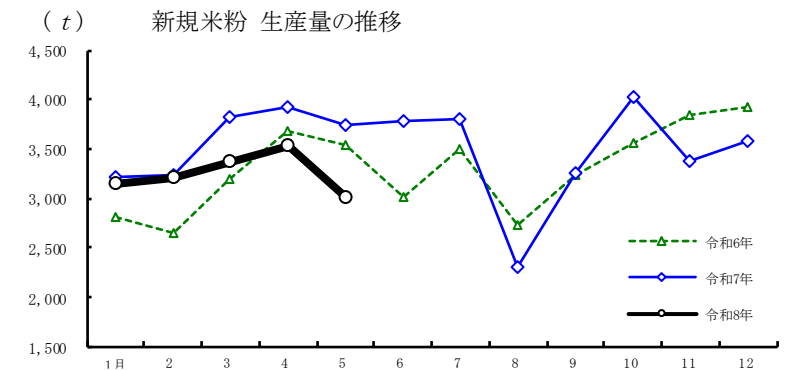
**5月 4.3% 減少**



## ○ 新規米粉

生産量 対前年同月比

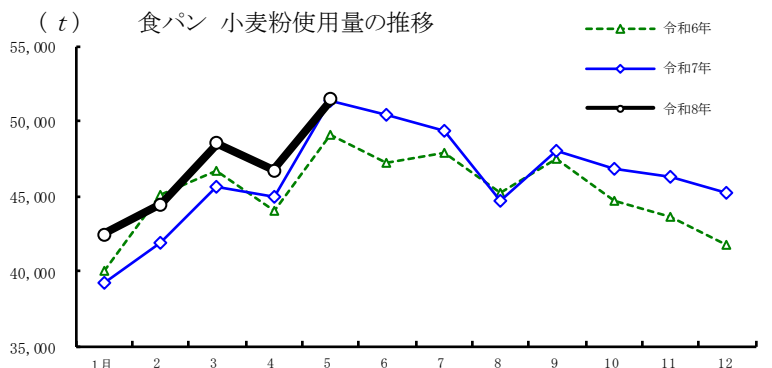
**5月 19.4% 減少**



## ○ 食パン

小麦粉使用量 対前年同月比

**5月 0.3% 前年並み**

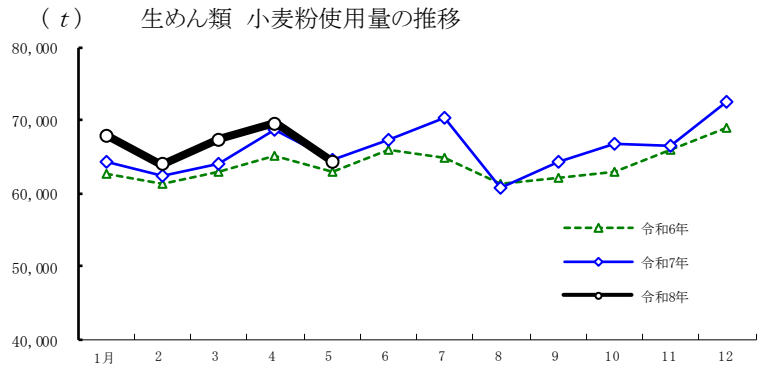


# 1. 加工食品の生産動向

## ○ 生めん類

小麦粉使用量 対前年同月比

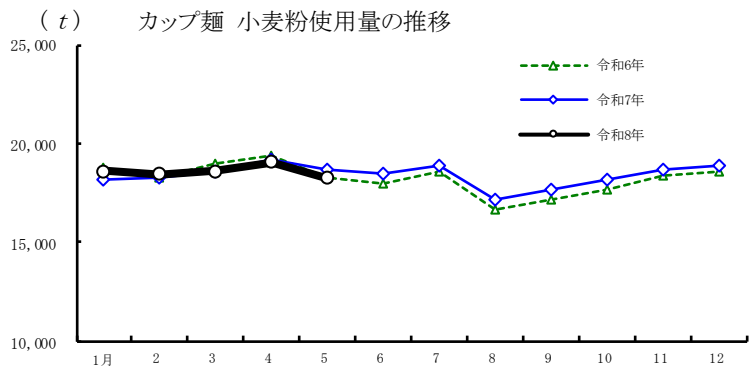
**5月 0.3% 前年並み**



## ○ 即席カップめん

小麦粉使用量 対前年同月比

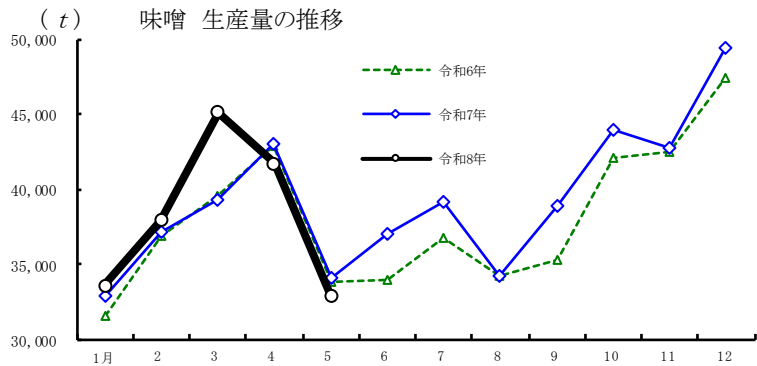
**5月 2.5% 減少**



## ○ 味噌

生産量 対前年同月比

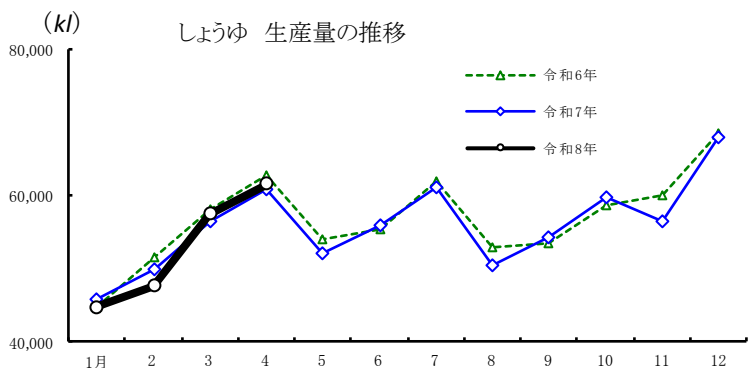
**5月 3.5% 減少**



## ○ しょうゆ

生産量 対前年同月比

**4月 1.3% 増加**

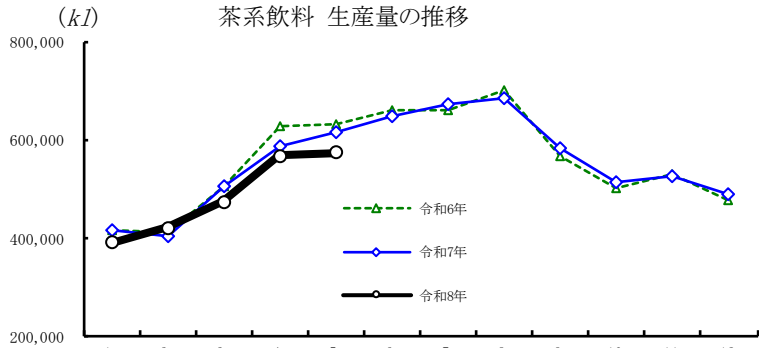


# 1. 加工食品の生産動向

## ○ 茶系飲料

生産量 対前年同月比

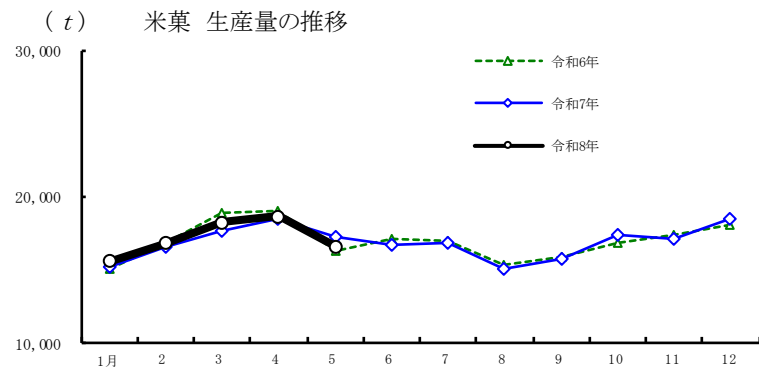
5月 **7.2% 減少**



## ○ 米菓

生産量 対前年同月比

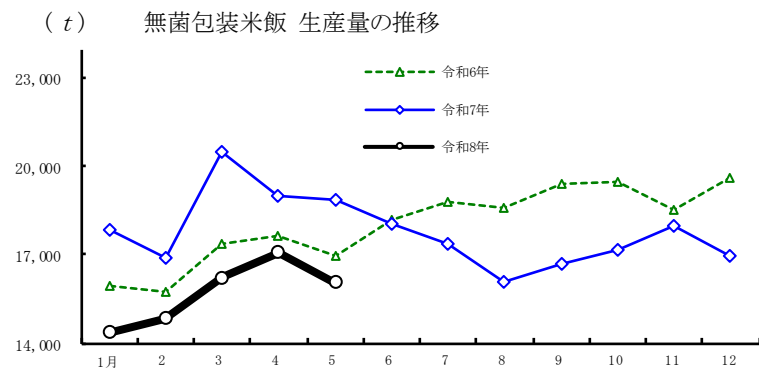
5月 **4.0% 減少**



## ○ 無菌包装米飯

生産量 対前年同月比

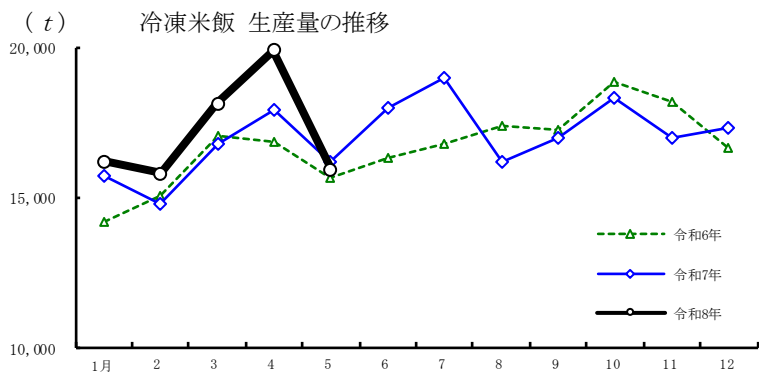
5月 **14.9% 減少**



## ○ 冷凍米飯

生産量 対前年同月比

5月 **1.7% 減少**



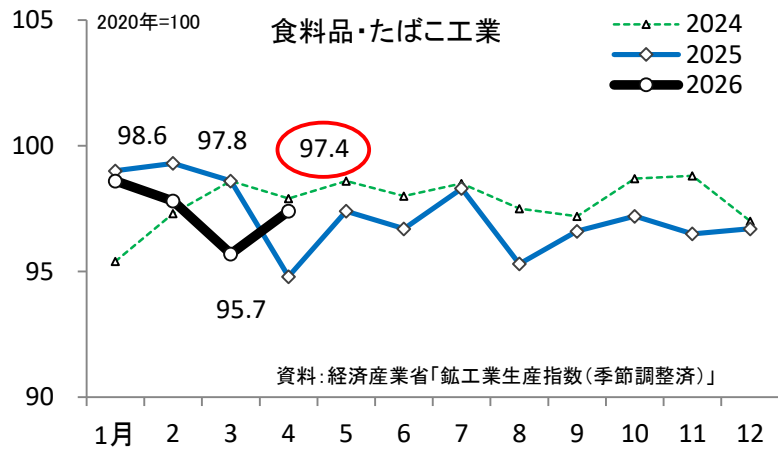
<参考> 食料品・たばこ工業の生産動向  
 (経済産業省「鉱工業生産指数」より)

○ 食料品・たばこ工業

生産指数 対前年同月比

4月 2.7% 増加

※経済産業省「鉱工業生産指数」は、鉱工業製品を生産する国内の事業所における生産、出荷、在庫に係る諸活動の統計。食品製造業の月次の生産動向について、みることができます。



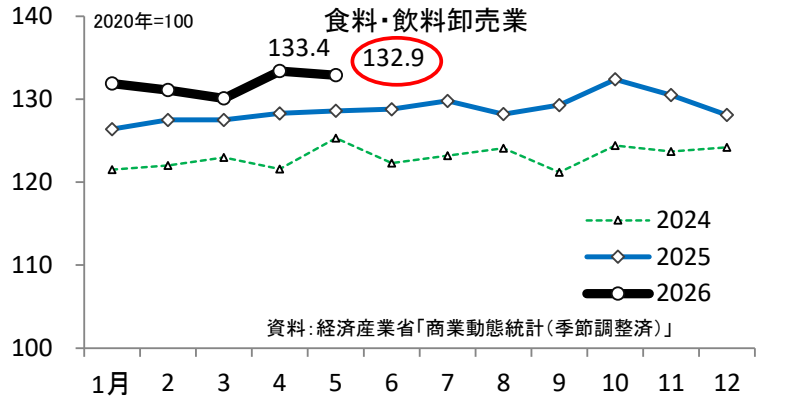
2. 食品卸売業・食品小売業

○ 食料・飲料卸売業

売上高 対前年同月比

5月 3.3% 増加

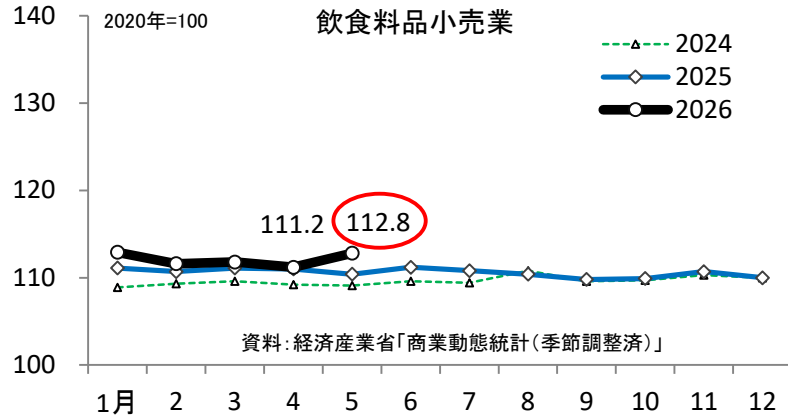
経済産業省「商業動態統計」は、全国の商業を営む事業所及び企業の販売活動の統計。具体的には、卸売業、小売業及び小売業の業態別(スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の飲食料品都等の売上高(月次速報)について、みることができます。



○ 飲食料品小売業

売上高 対前年同月比

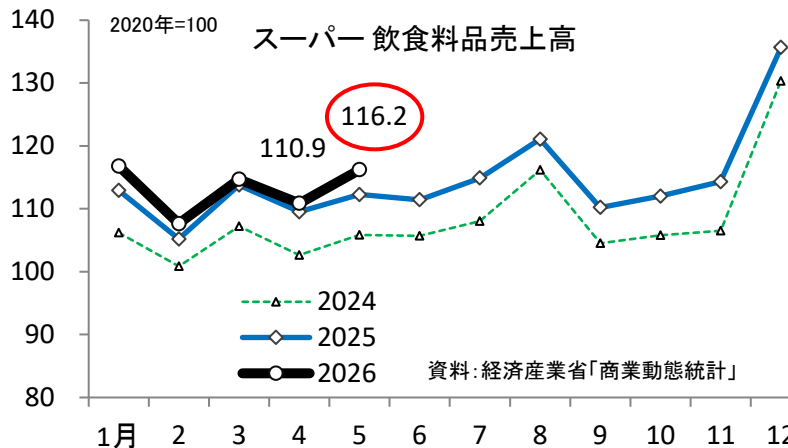
5月 2.2% 増加



○ スーパー

飲食料品売上高 対前年同月比

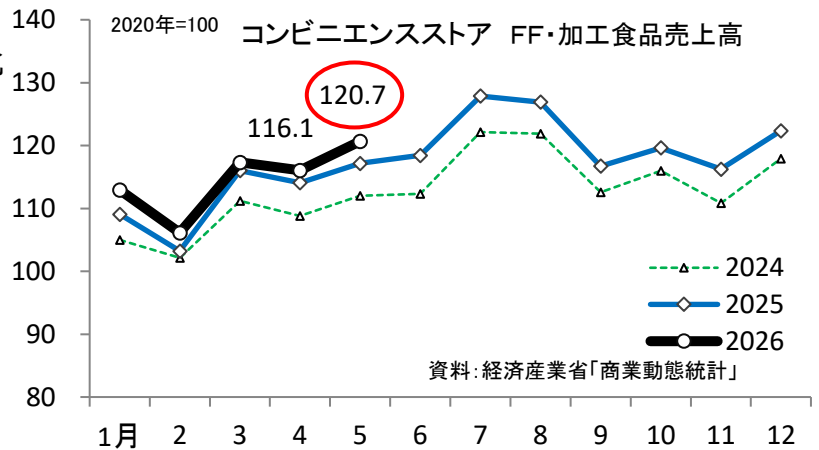
5月 3.5% 増加



## 2. 食品卸売業・食品小売業

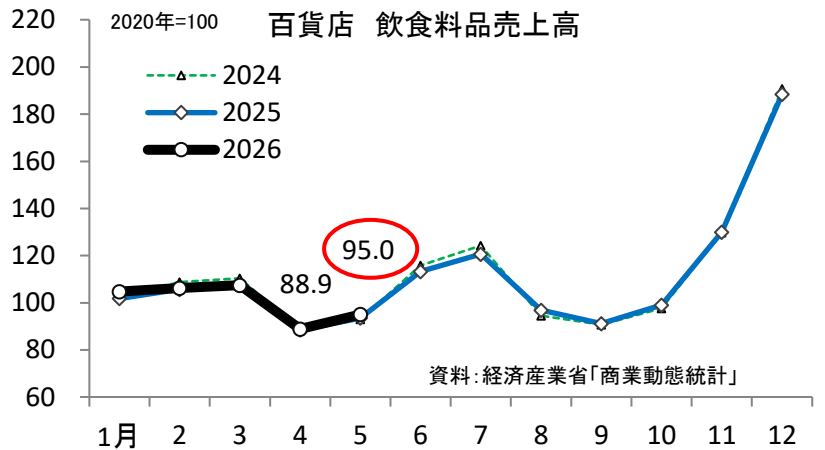
### ○ コンビニエンスストア

FF・加工食品売上高 対前年同月比  
5月 3.0% 増加



### ○ 百貨店

飲食料品売上高 対前年同月比  
5月 1.6% 増加

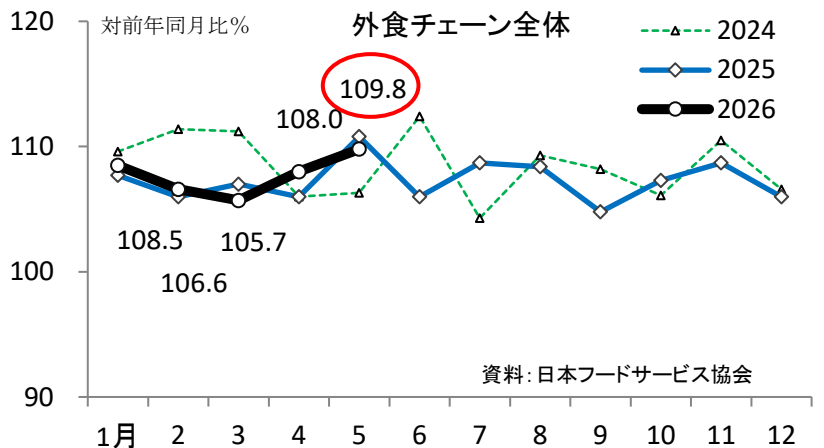


## 3. 外食産業

一般社団法人日本フードサービス協会の「外食産業市場動向調査」は、外食チェーン企業203社約3万9千店の売上高等についての業態別の統計。直近の売上動向がわかります。

### ○ 外食全体

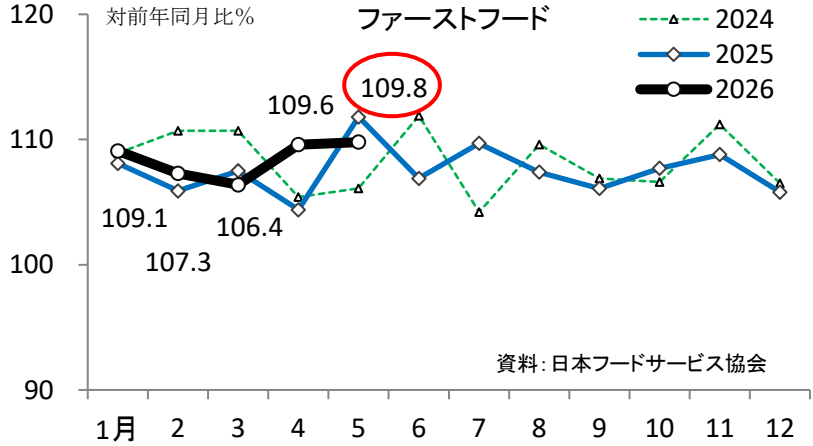
全店売上高 対前年同月比  
5月 9.8% 増加



### 3. 外食産業

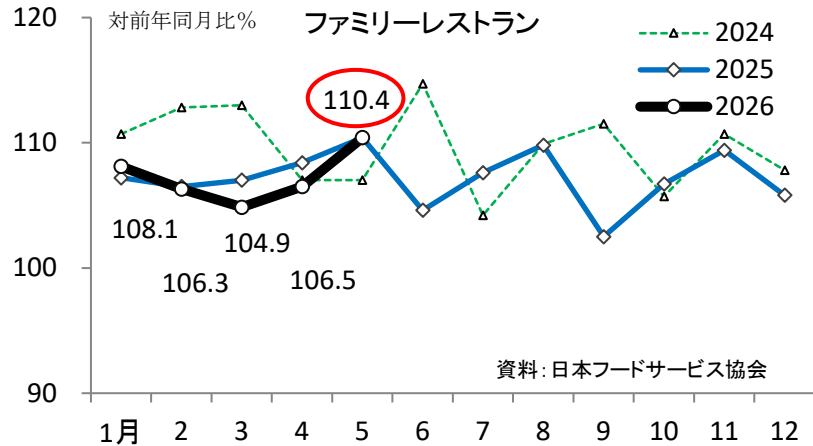
#### ○ ファーストフード

全店売上高 対前年同月比  
5月 9.8% 増加



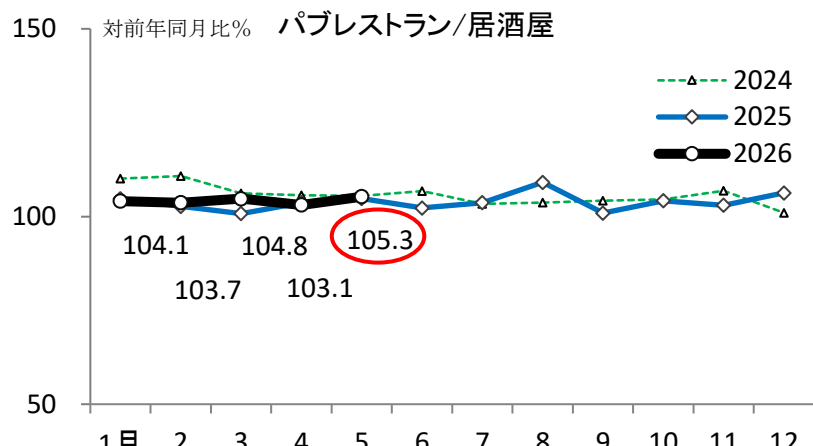
#### ○ ファミリーレストラン

全店売上高 対前年同月比  
5月 10.4% 増加



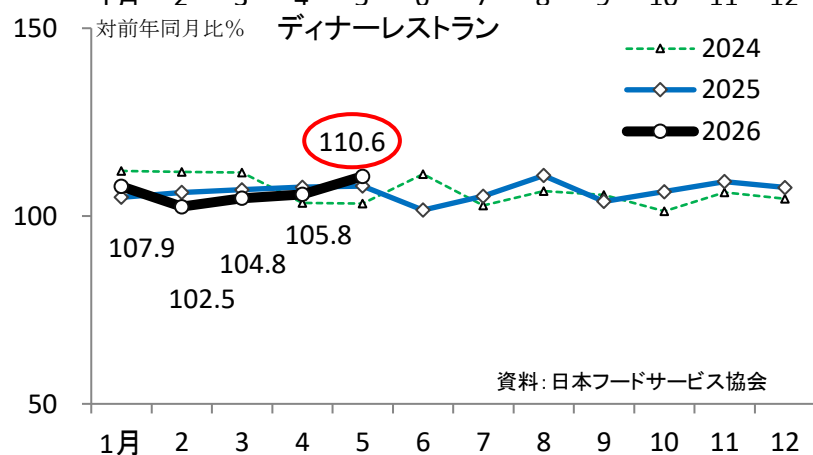
#### ○ パブレストラン/居酒屋

全店売上高 対前年同月比  
5月 5.3% 増加



#### ○ ディナーレストラン

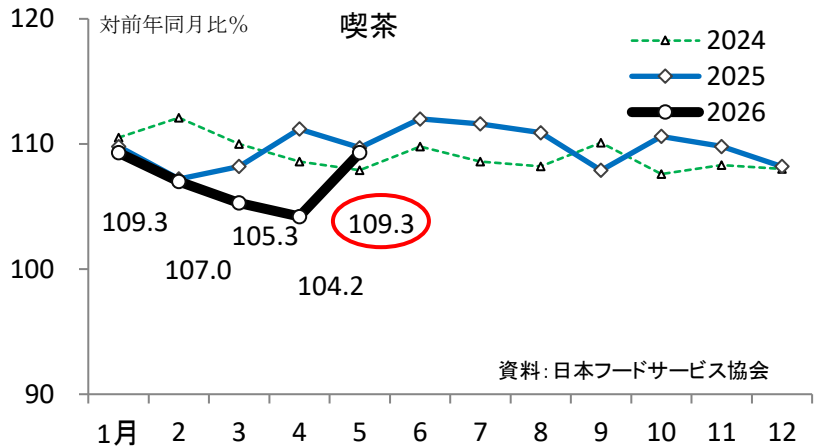
全店売上高 対前年同月比  
5月 10.6% 増加



### 3. 外食産業

#### ○ 喫茶

全店売上高 対前年同月比  
**5月 9.3% 増加**



### 4. 食料品の物価

#### ○ 企業物価指数

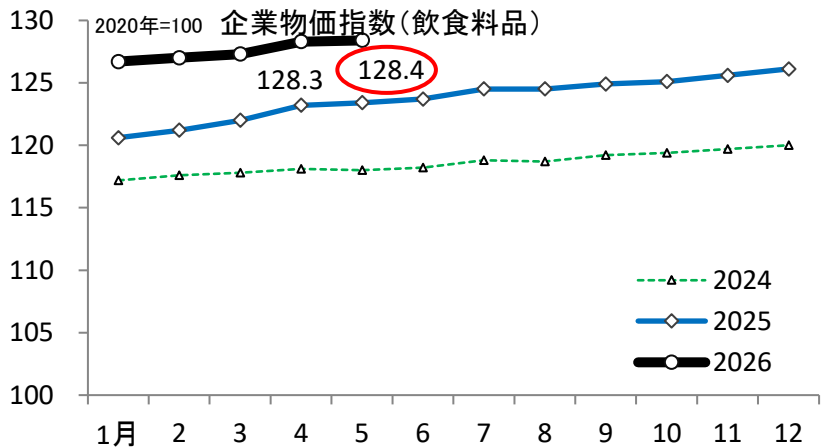
企業物価指数は、企業間で取引される品質を固定した商品（財）の価格を継続的に調査し、現在時点の価格を、基準時点（2020年）の価格を100として、指数化したもの。

このうち、食品製造業（飲食料品）の出荷販売価格について、みることができます。

資料：日本銀行「企業物価指数」

#### ○ 企業物価指数 （飲食料品）

飲食料品 対前年同月比  
**5月 4.1% 上昇**



#### ○ 消費者物価指数

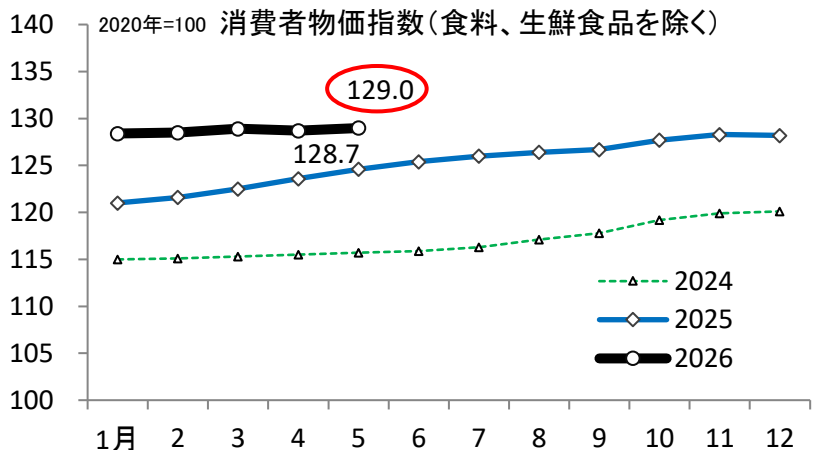
消費者物価指数は、全国の世帯が購入する財及びサービスの価格変動を総合的に測定し、物価の変動を時系列的に測定するもの。

このうち、食料（生鮮食品を除く）について、みることができます。

資料：総務省「消費者物価指数」

#### ○ 消費者物価指数 （食料（生鮮食品除く））

食料 対前年同月比  
**5月 3.5% 上昇**

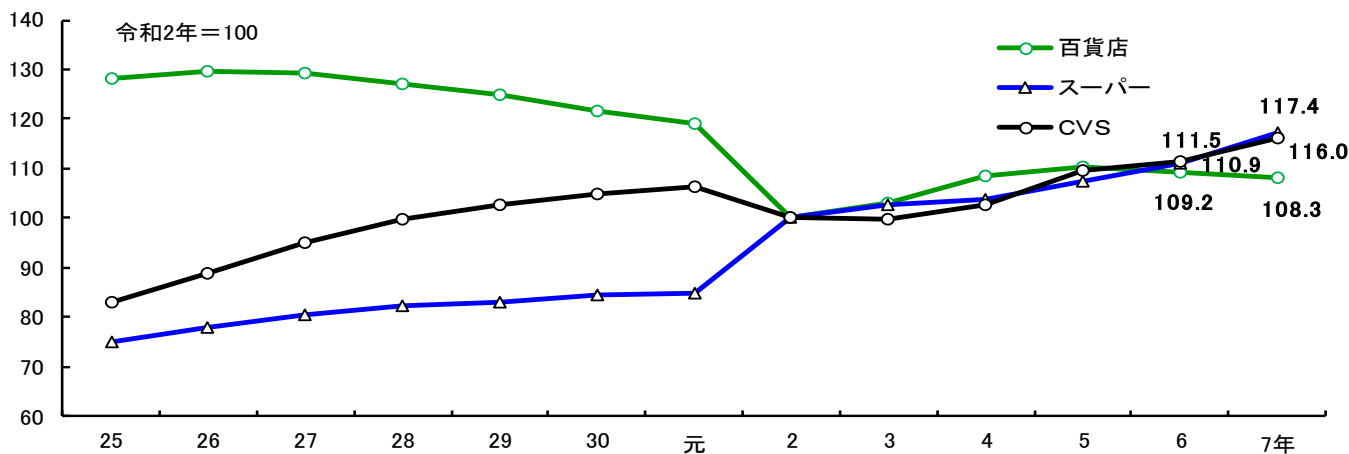


資料：総務省「消費者物価指数」

## 令和7年飲食料品の販売額は、スーパーはやや増加、CVSもやや増加

主要3業態（百貨店、スーパーマーケット、コンビニエンスストア（CVS））における令和7年の飲食料品販売額についてみると、スーパーマーケット（うち、大規模小売店）は13兆6千億円で対前年比5.8%とやや増加となった。百貨店（うち、大規模小売店）は1兆6千億円で対前年比▲0.8%と前年並みとなった。また、CVS（日配食品及び加工食品の合計）も8兆6千億円で対前年比4.1%とやや増加となっている。スーパーはコロナ禍における巣ごもり需要の増大以降も引き続き堅調となっており、CVSはコロナ禍前の令和元年の水準を超えて回復している。一方、百貨店は令和元年の水準には回復していない。

図1 百貨店、スーパー、CVSの食料品販売額指数の推移



資料：経済産業省「商業動態統計」

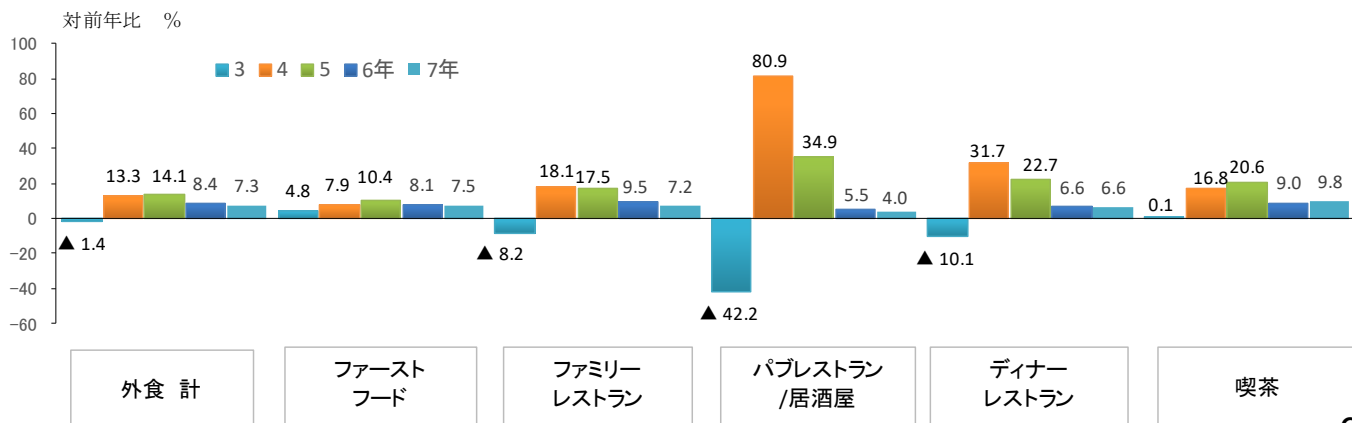
注：百貨店及びスーパーは、大規模小売店の数値である。

## 令和7年の外食チェーン売上高は、対前年比でかなりの程度増加

一般社団法人日本フードサービス協会によれば、令和7年の外食チェーン全体の売上高は、対前年比7.3%とかなりの程度増加となった。

業態別にみると、ファーストフードは対前年比7.5%とかなりの程度増加した。ファミリーレストランも対前年比7.2%とかなりの程度増加し、パブレストラン/居酒屋も対前年比4.0%とやや増加、ディナーレストランも対前年比6.6%とかなりの程度増加、喫茶も対前年比9.8%とかなりの程度増加している。

図2 外食チェーンの売上動向



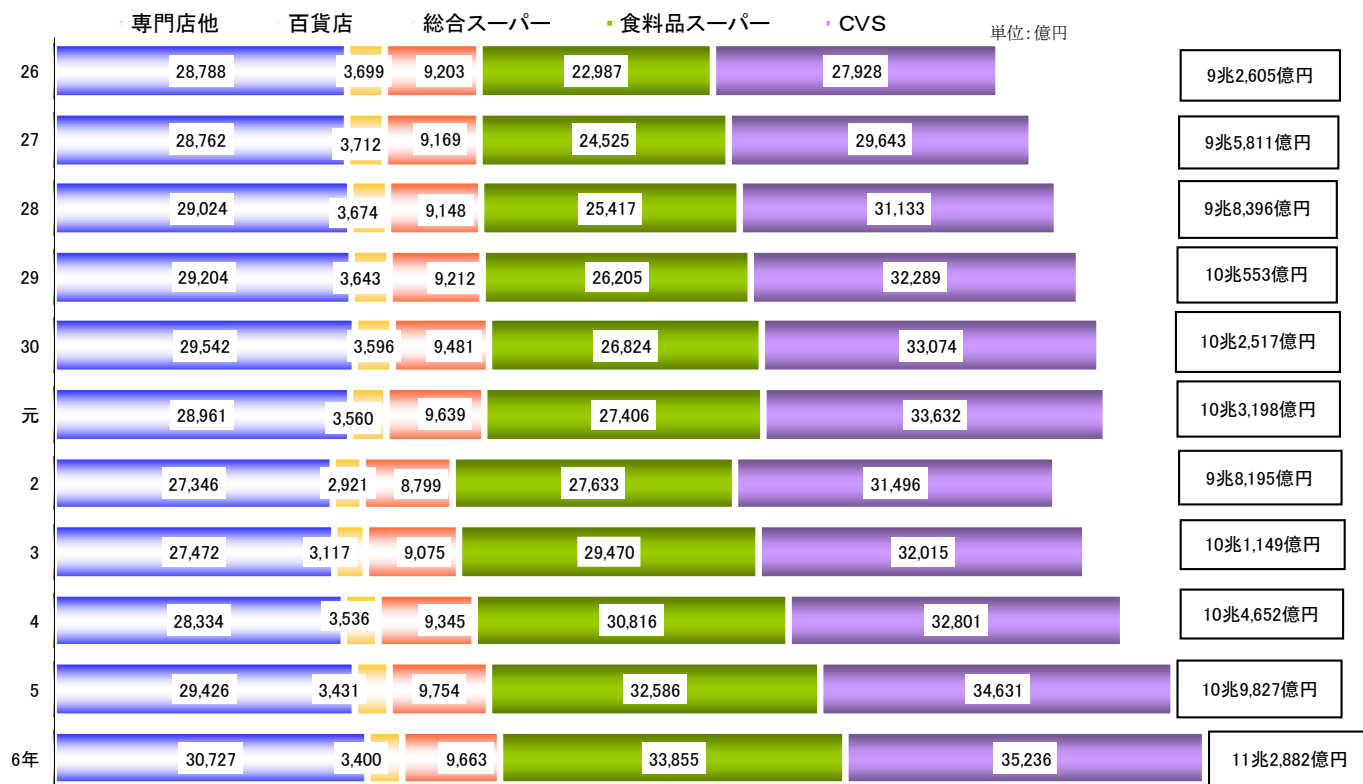
資料：一般社団法人日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」

## 令和6年の惣菜市場規模は対前年比でわずかに拡大

惣菜市場規模は、一般社団法人日本惣菜協会「惣菜白書」によれば、令和6年販売額は11兆3千億円対前年比2.8%とわずかな増加となった。惣菜市場は令和2年の新型コロナウイルス感染症の影響から、大きく落ち込んだが、令和6年はコロナ禍前の令和元年の水準を大きく上回っている。

業態別にみると、専門店他は対前年比4.4%とやや増加、百貨店は対前年比▲0.9%と前年並みとなった。また、総合スーパーは同▲0.9%と前年並み、食料品スーパーは同3.9%とやや増加した。CVSも同1.7%とわずかに増加した。

図3 惣菜市場規模の推移（令和6年）



資料：一般社団法人日本惣菜協会「惣菜白書」